

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	学校開放講座開設事業					事務事業コード	01802
部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課	係名	生涯学習係	部課コード	120100

1. 事業概要

総合計画コード	3212	3141			
事業年度	年度 ~ H	年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> ハード事業
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input checked="" type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務		<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 学校開放講座開設費補助金交付要綱		
めざす目的成果	優れた人材と施設及び専門的な教育機能を持つ市内の小、中学校等で講座を開催することにより、学習意欲のある市民が、身近な学習の場に恵まれ、生涯学習活動を行っている。				
事業内容	市内の学校が開設する学校開放講座を奨励、援助するため、開設学校に対し補助金を交付し、学校の地域への開放を進め、市民の学習機会の充実を図る。				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 市民等との協働 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 1講座50,000円の補助金を実施する学校に交付し、広報を通じての参加者募集、連絡窓口、学校との調整等を生涯学習・スポーツ課が行い学校の事業運営を支援する。 《補助金名》「学校開放講座開設費補助金」				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		・3校3講座を市内小・中学校で実施《補助対象者数/196人・総補助額/150,000円》 ・内容 バドミントン教室 2、KIN-BALL 1 ・実施校:一中、五小、九小				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		200	200	150	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金				
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
	[ホ]一般財源	200	200	150		
	b 人件費		1,832	2,565	1,979	
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)		2,032	2,765	2,129	
投入労働量	常勤職員等(人工)		0.25 人	0.35 人	0.27 人	
	一般職非常勤職員等(時間)		0 時間	0 時間	0 時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳	負担金、補助及び交付金 150千円					
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活	① 実施校数	校	5	6	7	8
			(3)	(—)	(—)	H 32 年度
動	② 講座数	講座	5	6	7	8
			(3)	(—)	(—)	H 32 年度
成	① 参加者数(1講座20人を目標)	人	100	120	140	160
			(62)	(—)	(—)	H 32 年度
果	②					
			()	(—)	(—)	H 年度

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input type="radio"/> A 必要性が高い	<input checked="" type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 学校施設の教育機能を活用し、地域への開放を進めながら講座を開催することで、市民の生活や、知識、教養の向上を図る上でも効果的な事業である。また、学校と地域との連携という面からも、市民の学校への関心を高め、学校応援団やスクールサポーター等の活動に参加するきっかけになり得ることから、継続して実施して行く必要性が認められる。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
	<input type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 講座開催校が減少したままの実施となったが、継続開催をしているバドミントン講座については、大人から子どもまで参加し、異年齢の交流が図られている。また、初開催されたKIN-BALLは、小学生から大人まで参加して楽しめる新しい競技で、こちらについても世代間交流が図られた。			
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 地域の方が参加しやすいよう、各小中学校で開催いただくようお願いした。 参加と協働: アンケートを実施し、参加者の声を伺った。 経営的な視点: 開催校の状況や意見を尊重し、柔軟な対応を心がけ、多くの市民が参加できるよう事業を行った。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> 事業のPRを積極的に行うほか、内容や実施方法等について、主催する学校側との連絡、相談を密にして行く必要がある。			

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	見直しの方向性	<input checked="" type="radio"/> A 見直して継続 <input type="radio"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期 : H 29 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善 (実施時期 : H 29 年度) <input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> その他 (実施時期 : H 年度)		
	方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	学校が年々繁忙になっていることもあり、実施校、開催回数が減少している。今後の実施にあたっては、開催校とも講座の内容や手法など調整を図り、満足度の高い講座となるよう努めていく。		